

Dr.ひろみの



ハッピー子育て

か る た

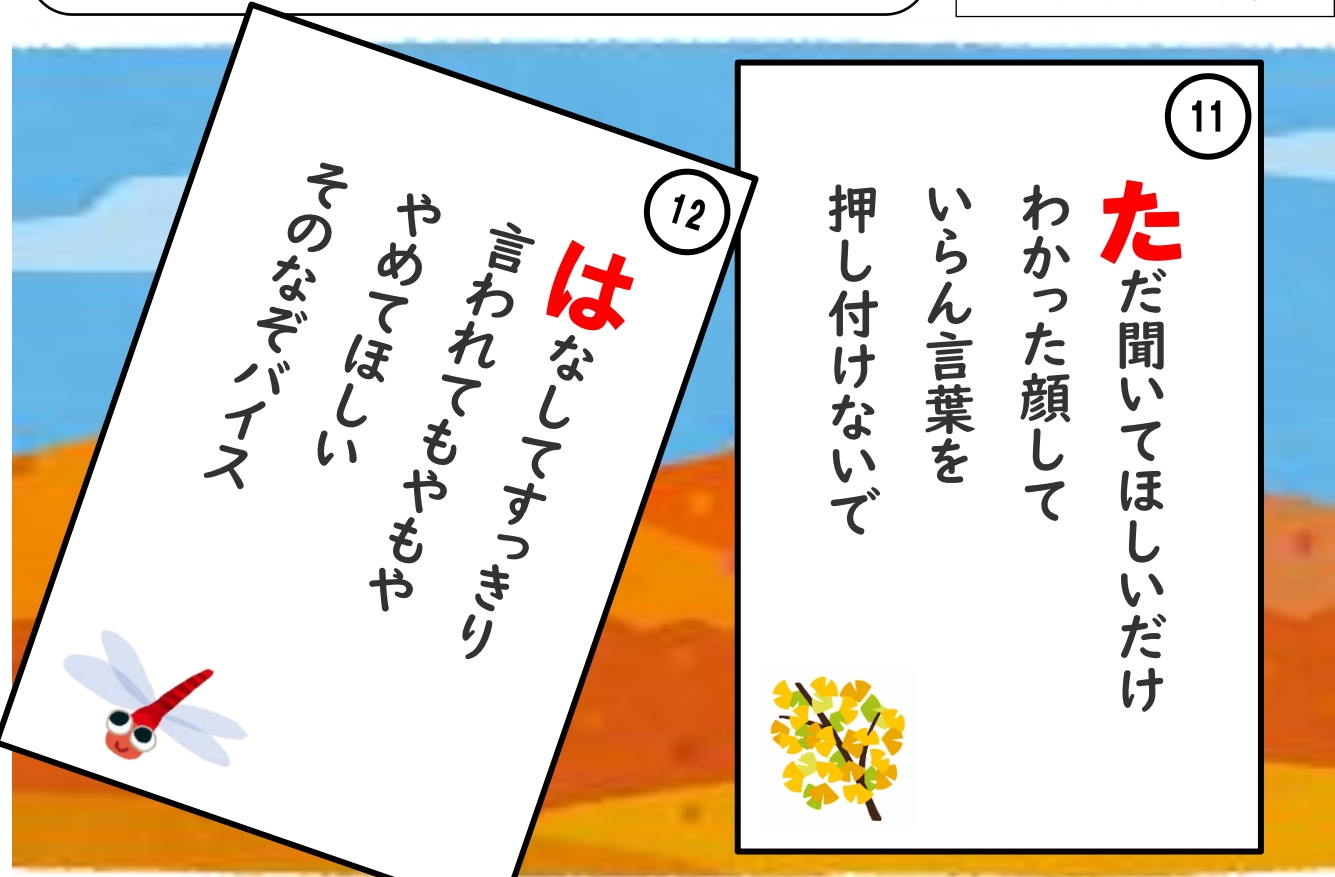
ひ ろ ば



みなさん、こんにちは。先日、また足を負傷しました。駐車場で邪魔なプレートを動かそうと車外に出ると、サイドブレーキはかけたのにギアがDのまま、車が動き出しました！急いで動く車の中に華麗に飛び乗り、ブレーキ踏んでギアをPにしたのが3秒。目の前の高そうな車にあと5cmでぶつかる所でした。その代償で足の靭帯損傷、2日間車いすと松葉づえで過ごしました(汗)。



☆読み手☆
鈴木 裕美 (すずき ひろみ)
香川大学医学部 小児科専門医



12

は なしつすしきり
言われてもやもや
やめほしい
なのなニース

11

ただ聞いてほしだけ
わかった顔して
いらん言葉を
押し付けないで

今月のかるた解説



大人も話を聞いてほしいだけの時ってありますよね。正論言われると腹立つし、わかってないのに、わかるとか言われるのも腹が立つ。同じ立場で同じ時代に同じ経験じゃなきゃ、絶対わからないんだから、わかった顔して説教されると、ほんと耳をふさぎたくなりますね。
話すと解決しなくても、案外すっきりします。それはこころのコップから嫌なものが減った証拠。それがこころに力を与えます。でも減る前に、求めてない言葉を投げつけられるとコップに嫌なものが追加されて、もやもやするし、しんどくなります。
以前、知り合いが「職場の悩みやぐちを父親に話したら、謎のアドバイスをされて、『そういうことじゃない』」と言い返したら、さらにとんちんかんなアドバイスされて疲れが増した」と言っていました。「謎のアドバイス」という言葉がおかしくて笑ってしまい、「なぜバイス」という造語まで二人で作って笑い飛ばしたことがありました。その彼女は仕事を辞めて、夢を叶えに東京に行ったなあ。彼女に必要なだったのは、考えを整理し勇気を蓄えるために、ただ聞いてもらうことだったんですね。